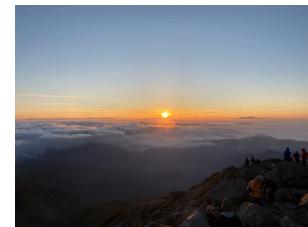


# (ここ通)

令和2年10月  
vol.102



## 父の背中

ようやく猛暑もおさまった9月下旬、父と弟と3人で白山登山に行ってきた。  
遡ること1ヶ月前、父と登るあまりの暑さで途中で断念し、下山していた。  
口には出さないけど相当悔しかったはずの父。



父は昔から毎朝のジョギングが日課だった。平日は6キロ、週末は10キロ。  
旅行先にもランニングシューズを持っていき、早朝1人で走ってたもんな。  
ある時 気持ちが乗ってたのが、20数キロ走ってきて帰宅後倒れこんだこともあった。



そんな父が走ることをやめたのは、57歳の時、心房細動で2ヶ月入院したこと。  
電気ショックを何度もし、生死の境という時間を経験した時だった。  
先生から「走ることはやめなさい」と言われ、ジョギングはやめた。  
走行距離累計は39119キロ。地球1周まであとちょっとだったって残念がってた。

(かし、そんなことで家に籠る父ではない。  
それからには登山に精を出すようになった。  
ひとりで全国各地の登山バスターに参加しまくった。



この白山にも子供の頃、毎年のように連れてきてもらつたな。  
雪渓の残雪でカキ氷を作つて食べつた。今思えばよくお腹を壊さなかつたと思う。笑  
そういうば、今の自分の年の頃だったが、景色も見ずにタイムアタックをし、  
距離6km、標高差1200mを2時間で登つた、て言つたなあ。°°



「継続は力なり」「好きなことをとことんやる」  
父の背中からいつもメッセージを受けとつていた。  
自分にもその遺伝子が受け継がれないと  
思うと勇気が湧いてくる

そんな父は現在79歳。  
毎年も行けるところにいっしょに登りたいと思う。